

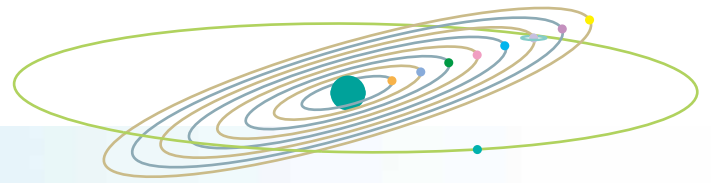
特集

楠隼中学校・楠隼高等学校で 輝く未来をつくる

平成27年4月に開校する鹿児島県立楠隼中学校・楠隼高等学校。鹿児島県立で初めての併設型中高一貫教育校で、公立としては全国初の全寮制の男子校です。

新しい歴史をこれからつくる楠隼中学校・楠隼高等学校について紹介します。





学校名 「楠」 「隼」

校名は8500件の応募の中から学校の理念をよく反映している言葉を選んでいきます。

楠

鹿児島県の県木であり、学校が設置される肝付町の町木でもある楠(くすのき)。

肝付町塚崎にある大楠は、国指定の天然記念物として知られています。巨木として成長する常緑樹で、生徒が大きく豊かな人間性を育んでいくことを象徴しています。

隼

俊敏に飛翔すること知られる鳥・隼(はやぶさ)。

勇敢なイメージのある薩摩隼人・大隅隼人、また肝付町から打ち上げられた小惑星探査機「はやぶさ」に由来しています。将来の人生や社会をしっかり見通せるリーダーとしての資質を持つことを象徴しています。

「楠隼」は、これからの時代を生きる世代に向けての期待と大きく羽ばたく人間性を育成することを祈念して名付けられました。

校訓 「大志」 「叡智」 「至誠」

校訓は、鹿児島の伝統精神を大切にしながら、世界や日本で活躍するための「志」を育てる人作りや全人教育の学校としての「コンセプト」を表現しています。

歴史と伝統、自然の豊かな鹿児島・大隅の地で、中・高6年間の全人教育を通じて、「自己を律し、学を修め、他者を益しながら、生涯を通じて主体的な態度で社会や人生を切り開いていく人づくり」を目標に、師弟(教師と生徒)がともに目指す「人としてあるべき姿や生き方」の指標として、3つの理念を掲げています。

大志 自己の確立

学校と寮での教育活動を通じて、仲間とともに多様な学習活動を重ねることにより、未来社会で果たすべき役割を見出し、自らが主体として、気づき、考え、行動する生き方の基礎を形成します。

叡智 好学の気風

志をもって生きる姿勢をもち、個として、また集団として学を好む気風を醸成し、情報化や国際化の中で課題を解決していくリーダーとなるよう、好学の資質を形成します。

至誠 利他の精神

志をもって学び、行動しながら、自らの偏見にとらわれず、他者の立場や痛みを理解できる広い見識をもち、将来社会のさまざまな場面で真のリーダーに不可欠な精神の基礎を形成します。

楠隼だけの「新たな教育活動」

宇宙航空研究開発機構 (JAXA) 名誉教授 まとがわ やすのぶ
(初代宇宙教育センター長) 的川 泰宣



20世紀に、人類は宇宙へと大きく羽ばたき、その自然観・生命観は革命的な変貌を遂げました。肩を寄せ合ってひしめき合いながら過ごしてきた小さな地球から、広々として果てしない宇宙を眺めてきた私たちは、今やこの地球が宇宙に包まれながらポッカリと浮かんでいる無数の星の一つに過ぎないことを知っています。21世紀は、宇宙から地球を見つめ、慈しむ新しい時代になりつつあります。

このような時期に、日本の宇宙活動の重要な一端を担ってきた鹿児島・大隅の地に、その新たな時代にふさわしい宇宙をキー・コンセプトにする中高一貫教育校が生まれることは、大変うれしいことです。しかも全寮制という画期的なスタイルが標榜されていることも、高校時代から楽しく有意義な寮生活を過ごした経験のある私から見て、素晴らしい試みであると感じています。

ここから多感な若者たちが情・知・意のあらゆる面で荒々しい姿で巣立ち、世界に日本の名を轟かせてくれることを、心から期待してやみません。



【学校全景図】



楠隼中学校
楠隼高等学校

教職員の皆さんに聞きました！

鹿児島県大隅半島のほぼ中央、風が吹き抜ける緑豊かな高台に、約6万5000平方メートル、東京ドーム約1個半分という広大な敷地に、県立楠隼中学校・楠隼高等学校が誕生します。

○学校の歴史をつくる

楠隼は手本となる先輩がいない学校なので、部活動、学校行事などすべてのことを一から作り上げるために、第一期生が仲間と協力しながら物事を進めることが必要となります。他人任せではなく、「自分がやらないと前に進まない」という思いを持って、学校生活を送ってもらいたいです。周りでは多くの教職員や寮スタッフが見守っていますので、一つ一つよい伝統を築きあげていきましょう。

また、歴史をつくるためには本當の信頼関係が大切だと思います。教職員一丸となって熱意と愛情を持って子どもたちを育てます。子どもたちの間にも強い絆を作り、新しい歴史をつくってほしいと思います。

○学業と部活動

楠隼では部活動は基本的に全員参加で午後4時30分から午後6時までです。これは他の進学校と比べて大きく変わりません。昼間の学校生活に加え、

午後6時から午後8時までは自由時間があり、その時間に友達や先輩と過ごす時間があります。また、通学時間がない分、中高とも7限授業で、学業と部活動を両立しながら、規則正しい生活を送ることができます。

○学生の皆さんへ

中学校選抜および高校の前期選抜は鹿児島県でも初めての選抜システムとなりますが、中高とも詳しい募集要項を発表していますので、ホームページ等で読んでください。中学校では適性検査、高校では国数英の独自入試等がありますが、これまで学んできた内容ですので、自信を持って受験に臨んでほしいと思います。楠隼の職員一同、皆さんの入学に備えるために、最後まで全力で準備に努める所存です。また、文部科学省のスーパー食育スクールにも指定されていますので、寮の食事も安全でおいしいですよ。開校式・入学式で皆さんとお会いできることを楽しみにしています。

○メッセージ

楠隼の全体像を説明します。歴史と伝統、自然の豊かな鹿児島・大隅の地で、中・高6年間を通じて鹿児島を存分に体験する活動、「宇宙学」や「ことば探究」などの課題研究等を展開することも、学力向上を図り、知・徳・体を備えたいリーダーを育成するのが、「楠隼」です。

「楠隼」の特徴は、多くの特色ある教育活動、自分の興味・関心のある対象に向けて全力で取り組むことができることです。JAXAと連携し、好奇心、冒険心、ものづくりの心、広い視野を育てる「シリーズ宇宙学」、自分の考えを筋道立てて書き話すことのできる能力の育成を目指す「ことば探究」などの課題研究、海外の一流の研究者や大学生、現地で活躍する日系企業とも交流しグローバルな視野を形成する「海外大学企業連携研修」、鹿児島自然・歴史・文化から学ぶ「農業漁業民泊体験」「テイスカバリー大隅」「テイスカバリー薩摩」「南西諸島探訪」などの体験学習、文部科学省の

【建設中です】



楠隼寮の見学や選抜試験の詳細など
お問い合わせは…

鹿児島県立楠隼中学校・楠隼高等学校

住 鹿児島県肝属郡肝付町前田5025

TEL 0994-65-1192

http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/nansyun/

楠隼寮

教職員の皆さんに聞きました！

楠隼中高一貫教育校に入学した学生が6年間を過ごす寮。鹿児島県産材の木材を使用した木のぬくもりあふれる寮です。1日の食事は、3食寮食で地域食材を活用したバランスの取れた安心・安全な食事が提供されます。

○リラックスタイム♪

平日は、午後6時から午後8時、土・日は午後5時30分から午後8時までの間に夕食と入浴の時間が設定されており、その時間帯が自由時間となります。また、土・日の午後には部活動がない場合は、午後1時30分から午後5時までが自由時間となります。なお、居室は個室なので自分の時間を持って、談話室もありますので、友達との時間を楽しめられます。午後6時から午後7時5分まで談話室でのテレビ視聴もできます。また、控え室では家族と面談ができます。

○教員・学習指導員とのコミュニケーション

教員が毎日2人、舎監として寮に配置されます。そのうち1人は宿直として翌朝まで寮に泊まることとなります。舎監は生活や学習の全般に携わるので、寮内全体を見守りながら具体的な助言や指導を行います。

○寮生活

学習指導員が午後7時には、学習室において、小講座も実施しますので、国数英等でわからないことがあれば、どんどん質問しましょう。舎監や学習指導員は土日も配置されるので、話をする機会はたくさんあると思います。

○寮生徒会

寮には、生徒自身の力で寮生活を充実させるように寮生徒会という組織があります。寮生徒会には、寮長と呼ばれる寮生をまとめる役割の人や、寮長を支える副寮長、書記がいます。

さらに、生徒自身の手で生徒の生活を豊かにするためにさまざまな委員会があり、一人一人それぞれ所属します。委員会では、寮生の生活を充実させるために毎日活動を責任を持って行うこととなります。第一期生は、その全てを創る主人公です。

スーパー食育スクールとして大学や企業とも連携した「食育」による体力・学力の向上の研究など、他校にはない楠隼独自の教育により、大きく豊かな人間性や将来の人生、社会をしっかりと見通せるリーダーとしての資質を育てていきます。

楠隼では進学指導にも力を入れていきます。学校と寮が連携した学習指導体制として、寮においては、各舎棟の学習室にて、寮専属の学習指導員が指導にあたります。タブレットを活用しながら希望大学への進学の夢を実現できる指導体制を整えています。また、楠隼寮では、皆さんで手作りの寮行事をつくっていくことになり、大切な思い出として刻まれていくことでしょう。

将来への高い志を持つ皆さん、ぜひ「楠隼」の一期生として、高い進路目標を実現するために、また、全寮制の楠隼だからこそ築けるかけがえのない友情をつくるために、楠隼中学校・高等学校にチャレンジしてほしいです。



轟の滝



楠 中高一貫教育校 × 肝付町



佐多岬



岸良海岸



冢崎の大楠



JAXA

豊かな環境

（学校周辺の紹介）

国内唯一のロケット発射場をもつ鹿児島県。かつて明治維新をはじめ、近代化の中心にいた薩摩の気風から学ぶことは多くあります。古きを学び新しい考えを生み出す最適な環境です。

楠 中高一貫教育校が開校される肝属郡肝付町は本土最南端の大隅半島南東部に位置し、平均気温は17度前後で極めて温暖多雨な気候、一部にはビロウ・ソテツの自生北限があり亜熱帯の特徴を示しています。

また、東南アジアの季節風帯にあり、夏期は東風および南東風が多く冬は乾燥した北西風が強くなります。

町の中央部には900メートル級の山々(国見岳・黒尊岳・ほよしだけ甫与志岳)が連なる肝属山系を形成しています。平野部には、常緑広葉樹が広く残された肝属山系や高隈山系を源に発する肝属川や高山川が流れ、豊富な水資源を蓄え志布志湾へと注ぎ込んでいます。

また、南東部は急峻な山脈がそのまま太平洋に落ち込む美しい海岸線が50キロメートルに及び、豊かな海の資源を育んでいます。



周辺の施設



自願流



体験(漁業)



塚崎古墳群



流鏝馬



二階堂家住宅

受け継がれる伝統……………(地元の声)

楠隼中高一貫教育校の開校を支える地元も準備を整えています。

中学1年・高校1年の土曜講座で肝付町内にある国見山・甫与志岳・黒尊岳の三岳登山を行います。

● 肝付三岳会

三岳会は、年に2回、三岳の縦走整備をしています。町内の小学校・中学校、そして県内外を問わず登山支援を行っています。全面的に楠隼中・高を支援するので、神話の山々の素晴らしさを学んでほしいですね。

楠隼中高一貫教育校の周辺には、都会の生活では得にくい農業や漁業などの生産を体験できる環境に恵まれています。

● 肝付町観光協会ツーリズム部会

現在の民泊受け入れ家庭は20軒ほどです。この町に来る方には、肝付町の得意分野を知ってもらいたいと思っています。受け入れ家庭に対しては、講習会などを実施するとともに、衛生関係の勉強会も検討しています。肝付町全体で生徒全員を受け入れられるよう、頑張っていきたいですね。

鹿児島県の伝統文化の良さを知るための活動として薬丸野太刀自願流を学びます。

● 薬丸野太刀自願流保存会

楠隼は明日の教育をうらなう事業です。人を育てることが大事です。薩摩の文化である自願流を生徒に学んでもらうため、協力を惜しまず頑張っていきたいと思っています。この学校ができることを心から喜んでいきます。

内之浦宇宙観測所では、ロケットの打ち上げがあります。

● 肝付町企画調整課

生徒の皆さんが見学できる場所の確保や、行き帰りの交通手段など協力する予定です。宇宙学が必要となる資料の提供についても協力していきたいと考えています。